

理事長あいさつ

緑化協会と連携強める



理事長 船越 昇

明けましておめでとうございます。新しい年が会員のみなさまやご家族にとって穏やかな一年でありますよう祈っています。

米国で発生した金融不況の嵐は全世界に波及し、日本列島にも不景気風が吹き荒れています。倒産件数の増加、雇用不安の拡大など暗いニュースが続くなかで、私どもセンターの事業は順調に推移しています。会員のみなさまの誠実な働き振りが住民に評価されて顧客数が増えていることや、精華町を始めとする団体、企業がシルバーを伸ばしてやろうという配慮のお蔭であると心から感謝しています。

本業である受託事業の昨年4～11月の受注件数は834件と前年とほぼ同じ水準でしたが、契約金額は8.4%増えて7千万円になりました。3月の決算時までにはどれだけ増やせるかは分かりませんが、うまくいけば1億円の大台に乗せられるのではないかとひそかに期待しています。

新しい仕事として始めた堆肥化事業の堆肥は、府の農業指導機関から「良好」というお墨付きをいただき、喜んでいきます。9月に立ち上げたホームページは他府県からもアクセスされており、滋賀県や石川県のシルバーから視察申し込みが舞い込んできました。放課後児童クラブの支援でスタートした子育て支援事業は活動分野をさらに広めようと教育委員会に働きかけています。会員のいきがいを高めるために始めた文化展は昨年秋の4回目から一般住民にも開放し、住民20人から47点の出展がありました。3日間で約600人の来場者があり、公益性を重視した事業の意義と効果を実感しました。

新しい年には、精華町都市緑化協会との連携を深めたいと考えています。緑化協会は当センター設立時に母体となり、発足を助けていただいた“生みの親”です。契約制度が変更され、この数年業績が急速に悪化しているため、町からセンターに支援要請がありました。緑化協会との連携強化はセンターの業容拡大に役立つと考えています。具体策については今後検討し、みなさまにお伝えしていきます。理解と協力をお願いします。

精華町子ども祭りで「書道の実演と習字」コーナーを出展しました

日時 平成20年10月25日(土)午前9時～午後3時
場所 むくのきセンター

シルバー人材センターは協力団体として、体育館のブースの一つを使用して書道の実演と習字を行ないました。講師は会員の山田重雄、岩前良明両氏で、たくさんの子供たちをはじめ、多くの大人の方の参加もあり、参加者は151名でした。

